

## 陳 情 文 書 表 ( 2 5 - 1 - その 1 )

- 1 受理番号 陳情第3号 令和7年2月21日受理
- 2 件 名 JR久留里線(久留里駅・上総亀山駅間)9.6kmの存続について君津市議会の賛同を求める陳情書
- 3 陳 情 者 住 所 君津市大坂1776-1  
団体名 久留里線と地域を守る会  
氏 名 代表 三浦 久吉

### 4 趣 旨

昨年11月27日、JR東日本は、久留里線の久留里駅～上総亀山駅間について、「鉄道に替えて新たな交通体系へのモードチェンジを図る」と発表しました。しかし鉄道は上総地域にとって欠かすことが出来ない公共交通であり、移動手段であります。JR久留里線の存続と利便性の向上は、上総地域の活性化はもとより君津市全体の発展に大きく寄与する大切なものであります。以上の趣旨により君津市議会において、久留里線の存続について賛同していただきたく陳情します。

**経緯** 現在上総地域の人口減少に伴い、JR久留里線の利用状況は減少したとはいえ、高校生の通学や沿線の方々への通勤・通院などJR久留里線を利用した日常生活が営まれています。さらにJR久留里線は沿線住民だけではなく、上総地域への多くの観光客も利用しております。久留里線(久留里・上総亀山間)沿線地域交通検討会議が行なった亀山、松丘、久留里の各地区住民説明会では、のべ220人148項目の久留里線存続の意見や要望がありました。亀山地区自治会連絡協議会が行なった独自アンケートでは、49.3%の皆さんが存続を希望しました。上総小学校の児童たちが利用する、「かずさっ子クラブ」(子どもたちの居場所)では、久留里線を利用して帰宅しています。

久留里線は、誕生から110年あまりという長い歴史があり、この地域に定着し親しまれてきました。鉄道が出来るにあたっては、地域の先人たちが私財を提供し、墓地を移動するなど地域をあげての協力、支援のもとで、地域発展の願いや思いが詰まっています。

以上の事から、上総地区の住民をはじめ多くの市民や利用者の声と願いを君津市議会として受け止めていただき、JR久留里線(久留里駅～上総亀山駅間)の存続について賛同していただくよう陳情いたします。

- 5 付託委員会 総務常任委員会